



2019年6月10日

インフラファンド発行者名
エネクス・インフラ投資法人
代表者名 執行役員 山本 隆行
(コード番号 9286)

管理会社名
エネクス・アセットマネジメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 山本 隆行
問合せ先 取締役兼財務経理部長 大村 達実
TEL : 03-4233-8330

保有資産に係る月次発電量実績に関するお知らせ (2019年5月)

エネクス・インフラ投資法人が2019年5月末日現在で保有する発電設備の2019年5月の発電量実績につき、以下の通りお知らせいたします。

記

1. 月次発電量実績 (第2期 2019年2月～2019年11月) (注1)

2019年11月期					
	物件数	パネル出力 (kW)	発電量予測値 (kWh) (注2) (A)	発電量実績値 (kWh) (注3) (B)	差異 (kWh) (B)-(A)
2019年2月 (注1)	5	37,628.68	1,859,569	1,771,370	-88,199
2019年3月	5	37,628.68	4,206,567	4,084,828	-121,739
2019年4月	5	37,628.68	4,486,422	4,720,552	234,130
2019年5月	5	37,628.68	4,558,000	5,042,141	484,141
2019年6月	—	—	—	—	—
2019年7月	—	—	—	—	—
2019年8月	—	—	—	—	—
2019年9月	—	—	—	—	—
2019年10月	—	—	—	—	—
2019年11月	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	—

(注1) 本投資法人の第2期営業期間は2018年12月1日から2019年11月30日までですが、資産の取得日が2019年2月13日(実質的な運用開始日)であるため、同日以降を集計対象としています。

(注2) 「発電量予測値」とは、超過確率P(パーセンタイル)50の数値(50%の確率で達成可能と見込まれる数値を意味します。)としてテクニカルレポートの作成者その他の専門家によって算出された発電電力量をいいます。

(注3) 「発電量実績値」は、高萩、防府、玖珠及び鉾田は電気事業者の検針票データを記載しておりますが、千代田は遠隔監視システム等で把握可能なデータを基に集計しています。

2. 月次発電所別発電量実績（第2期 2019年5月）

2019年5月					
物件番号	物件名称	パネル出力 (kW)	発電量予測値 (kWh) (A)	発電量実績値 (kWh) (B)	差異 (kWh) (B)-(A)
S-01	高萩太陽光発電所	11,544.00	1,316,917	1,757,520	440,603
S-02	千代田高原太陽光発電所	1,595.28	195,549	247,517	51,968
S-03	JEN防府太陽光発電所	1,940.64	256,330	298,152	41,822
S-04	JEN玖珠太陽光発電所（注4）	1,007.76	120,255	124,488	4,233
S-05	銚田太陽光発電所（注5）	21,541.00	2,668,949	2,614,464	-54,485
合計		37,628.68	4,558,000	5,042,141	484,141

（注4）九州電力株式会社管内において再生可能エネルギー発電設備を対象とした出力制御が実施され、本投資法人が大分県内に保有するJEN玖珠太陽光発電所が、5月4日、5月7日及び5月12日に対象となりました。

（注5）銚田太陽光発電所において5月2日に設備障害が発生し、5月10日に完全復旧をしております。その間、5月3日までは同発電所内の全設備、5月4日以降は一部の設備で発電を停止しました。詳しくは2019年5月10日付プレスリリース「銚田太陽光発電所における設備障害の発生について」をご覧ください。

<https://enexinfra.com/file/news-517179eebafa4d12421785c966748e62b920c32f.pdf>

なお、本投資法人は、運用資産をいずれも発電事業者SPC（銚田太陽光発電所の発電事業者SPCはSOLAR ENERGY 銚田合同会社です。）に賃貸し、発電事業者SPCから基本賃料と実績連動賃料を収受する賃貸スキームを採用しています。

実績売電収入額が発電量予測値の想定売電収入額を下回った場合でも、運用資産毎に年間発電量予測値の想定売電収入の20%相当額までは、賃料等積立口座への積立金及びスポンサーの追加出資により、不足額を補填することとしており、現時点においては、本投資法人が発電所の賃借人たる発電事業者SPCから収受する基本賃料は減少しない見込みです（2019年11月期における当該発電所の年間想定売電収入に対する設備障害による不足額の影響は1.6%であり、賃料等積立口座への積立金及びスポンサーの追加出資により補填可能な見込みにあります。）。

本投資法人の2019年11月期の業績予想においては当該発電所の実績連動賃料は見込んでおりません。そのため、2019年2月13日付「2019年11月期及び2020年11月期の運用状況の予想に関するお知らせ」で公表している本投資法人の2019年11月期の運用状況の予想への影響はありません。

以上

※本投資法人のホームページアドレス：<https://enexinfra.com/>